

高齢者 新型コロナワクチン定期予防接種についての説明書

対象者

都城市又は三股町に住民票があり、次のいずれかに該当する人

- (1) 接種日に 65 歳以上の人
- (2) 接種日に 60 歳以上 65 歳未満の人で、心臓、腎臓又は呼吸器の機能に日常生活が極度に制限される程度の障がい有する人、及びヒト免疫不全ウイルスにより免疫機能に日常生活がほとんど不可能な程度の障がい有する人（障害者手帳 1 級相当の状態にある人）

※この予防接種を受ける法律上の義務はないため、「接種を希望している」という本人の意思を確認ができない場合は、対象者になりません。

※対象者以外の方は、任意接種となりますので医療機関にご相談ください。

回数

接種期間内（令和 6 年 10 月～令和 7 年 2 月末）に 1 人 1 回

※期間内 2 回目以降の接種は「全額自己負担」になります。

料金

2,000 円 医療機関窓口でお支払いください。

※生活保護受給世帯の人は無料（保護課発行の受給証明書が必要）

1. 予防接種を受ける前に

- ・この説明書および予診票の裏面をよくお読みになり、この予防接種の目的や効果、副反応等について確認してください。
- ・不明な点や心配なことは、事前に医師や看護師、またはお住いの市町村にお尋ねください。
- ・予診票は、医師にとって予防接種の可否を決める大切な情報です。接種を受ける人が正しく記入してください。

2. 新型コロナウイルス感染症について

新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）による感染症が発症すると、熱や咳など風邪によく似た症状がみられます。軽症のまま治癒する人も多い一方、重症化すると、呼吸困難などの肺炎の症状が悪化し、死に至る場合があります。

3. 新型コロナワクチンについて

令和 6 年度以降の接種については、個人の重症化予防により重症者を減らすことを目的とし、定期接種（B 類）として実施することとなっています。ワクチンの接種を受けても、発症等を完全に予防できるわけではありません。ワクチン接種にかかわらず、引き続き、適切な感染防止策を行う必要があります。

4. 接種を受けることができない人

- ① 明らかに発熱のある人（一般的に、体温が 37.5℃を超える場合）
- ② 重い急性疾患にかかっていることが明らかな人
- ③ 新型コロナワクチンに含まれる成分によって、「重度の過敏症」を起こしたことがある人

※重度の過敏症とは、アナフィラキシー（接種後約 30 分以内におこるひどいアレルギー反応）や、全身性の皮膚・粘膜症状、喘鳴、呼吸困難、頻脈、血圧低下などの複数の症状です。

前回までの接種で、これらの症状があった人は、同一成分を含むワクチンでの接種はできません。

- ④ その他、医師に「不適当な状態にある」と判断された人

(うらへ続く)

5. 予防接種を受けた後の注意

- ① 予防接種を受けた後 30 分間は、急な副反応が起こることがあります。医師（医療機関）と、すぐに連絡をとれるようにしておきましょう。急な副反応が心配な場合は、医師に相談のうえ、接種を受けた施設内でしばらく様子をみてください。
- ② 入浴は差し支えありませんが、注射した部位を強くこすることはやめましょう。
- ③ 接種当日はいつも通りの生活をしてかまいませんが、激しい運動や飲酒は控えてください。
- ④ 予防接種済証は、接種を証明するものです。大切に保管しましょう。

6. 新型コロナワクチンの副反応

注射した部位の痛み、頭痛、関節や筋肉の痛み、疲労、寒気、発熱等が現れることがあります。

また、重大な副反応として、ショックやアナフィラキシーが現れることもあります。なお、新型コロナワクチンは新しい種類のワクチンであるため、これまでに明らかになっていない症状が出る可能性があります。接種後、気になる症状がある場合は、接種医あるいはかかりつけ医に相談してください。

◇接種後、数日以内に「胸の痛みや動悸」「息切れ」「むくみ」等の症状が現れたら、速やかに受診をしてください。

（ワクチン接種後に心筋炎や心膜炎を疑う事例が報告されています）

◇接種後、「手足の力が入りにくい」「しびれ」等の症状が現れたら、速やかに受診をしてください。

（ワクチン接種後に、ギラン・バレー症候群が報告されています）

7. ワクチンの投与方法

製造会社	販売名	抗原株	接種回数	接種量	他のワクチンとの間隔
ファイザー	コミナティ RTU 筋注	SARS-COV-2 オミクロン株 JN.1 系統	1 回※	0.3mL	制限なし。 同時接種については、 医師が特に必要と認めた 場合に可。
モデルナ	スパイクボックス筋注			0.5mL	
第一三共	ダイチロナ筋注			0.6mL	
武田	ヌバキソビッド筋注			0.5mL	
Meiji Seika ファルマ	コスタイベ筋注			0.5mL	

※過去に接種歴のない方は、およそ4週間の間隔をおいて2回目接種を行うことができます。

（2回目の接種は、助成対象外となります。）

8. 新型コロナワクチンの種類・特徴

●mRNA ワクチン（ファイザー・モデルナ・第一三共）

ウイルスのタンパク質をつくるもとになる遺伝情報の一部を注射します。人の身体の中で、この情報をもとに、ウイルスのタンパク質の一部が作られ、それに対する抗体などができることで、ウイルスに対する免疫ができます。

●自己増殖型mRNA ワクチン（Meiji Seika ファルマ）

接種後に体内で成分が増える新しいタイプのワクチンです。メッセンジャーRNA をコピーして増やすための設計図も成分に組み込んでおり、従来のmRNA ワクチンより少量の成分で、効果が長続きするという特徴があります。

●組換えタンパクワクチン（武田）

ウイルスの表面にある「スパイクたんぱく」を遺伝子組み換え技術によって人工的に複製し、ワクチンとして体内に投与することで、抗体を作り出します。以前より、B型肝炎ワクチンなどに用いられてきた製造方法です。

※新型コロナワクチンの最新情報は、
厚生労働省のホームページをご覧ください。➡



【文書取扱】 都城市 健康部健康課
地域医療・予防接種担当
TEL : 23-2765